



1年生職業講話の実施

2月20日（木）の6校時と2月27日（木）の5・6校時の2日間は、1年生で職業講話を実施しました。職業講話は、キャリア教育の一環として行われるもので、様々な職業人の講話を聴くことによって、仕事の大切さや将来就きたい職業について考える機会とすることが目的です。今回は4人の方に講師として来ていただきました。お一人目は、地域在住の「岩崎蒲鉾」の代表を務める方、他の3名はPTA会長様からご紹介いただいた、「AI 電脳助人長崎株式会社」の代表取締役の方、「プロアニマルレスキュー隊」の隊長の方、看護師の方です。ジャンルの異なる様々な方からのお話は大変刺激を受けました。



4名の中から1名の方の講話の一部をご紹介します。朝4時20分から製造の仕事が始まり、15時までの事務作業の一日の様子や、また、明治から続く家業を継ぐことへのご自身の葛藤、家業を継ぐ前になさっていたお仕事の話など、体験を交えて生徒にわかりやすく伝えていただきました。地元を支える企業の代表としてご活躍の一方、小学校の役員としても日々尽力されています。そのような深堀中出身の先輩が身近にいらっしゃることは、今後自分の将来を考える生徒たちには心強いと思います。今回の講話では、それぞれの皆様の様々な職業観を聴かせていただき、視野が広がりました。ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

深堀中生の活躍

★長崎新聞ジュニア俳壇・歌壇 〈2月24日掲載〉

ジュニア歌壇年間賞

年間掲載約1400作の中のベスト5に選ばれました

3年生

【リレーでの一歩は地球を蹴って進む一歩は夏風切って走るよ】

選評

リレーで走っているその瞬間を「地球を蹴って」「夏風切って」との表現は、なんと壮大か。今、この地球を蹴って走っているのは自分なのだというエネルギーを感じます。